



みんなのひろば



阪本京子
(御来屋11区)

	子
	育
	て

最近、生後間もない赤ちゃんを
当たり前のように保育所に預けて
働く母親もいます。

国の政策もあり、またそれを選ぶ
のは本人の意思ですから誰も何も
言えません。

赤ちゃんの脳は未熟な状態で産

まれ、3歳までに半分が、残りの半
分は思春期ごろ完熟すると言われ
ています。3歳までにその子の人格
が形成されるのです。五感を育てて
やりなさいとよく言われます。

乳幼児期はしっかりと甘えさせて、
自分の腕の中で抱きしめてやれば、
安心して次のステップの友達と関係
を築いていけるのです。そして、思
春期にもその愛情は忘れないもの
となり、その子の生きる力となりま
す。成人した時は、親としての達成
感につながります。



岡田亜由美
(中林)

	信
	頼
	関
	係
	を
	築
	く
	た
	め
	に

児童館の職員として、日々子ども
と関わる中で大切にしていること
は、一人ひとりをよく見て、ありのま

まの子どもの姿を肯定的に受け入
れる(自己肯定感)、子どものありの
ままを受け入れる(受容)、身体ごと
耳を傾けて聞く(傾聴)、子どもがや

りたいこと、やりたくないことを決
定させる(自己決定)です。

そうすることにより一人ひとりと
の信頼関係が生まれ、心を通わせる
ことができるのではないかと思っ
ています。

子どもたちが社会で幸せに生き

るために、さまざまな感動を体験さ
せ、表現や伝える技術をきちんと身
につけさせること。無限大の才能や
可能性を引き出すこと。その手助け
をするのが私たち児童厚生員の仕
事だと思っています。子どもたちに
幸せの種をまき、その子どもたちが
いつかきれいな花を咲かせるまで温
かく見守っていききたいと思いま



森田かすみ
(香取上)

	『
	チ
	ャ
	レ
	ン
	ジ
	ド
	』
	と
	共
	に

チャレンジドール障害がありながら
も生きることにはチャレンジし続け
る。

わが家の長男は今年小学6年生。
知的障害があり、入学時から特別支
援学級に在籍しています。学校の中
で先生方や上級生のみなさん、そし

て、交流学級の仲間からの声かけ、
励ましの言葉のおかげで、自分の力
をつけてきました。地域の方からも
「がんばってるなあ」と伝えてもら
うと、本人も自信になり、私や家族に
とっても支えとなっています。

信をつけてこれた6年間、親とし
て、関わってくださった方々へ感謝
の気持ちでいっぱいです。

チャレンジドールとして生きる息子
に、これからも地域の方の温かい眼
差しで光を当ててくだされば幸い
です。

あとがき

9月定例議会は、決算議
会であった。違法性はない
か、数字に誤りはないかな
どの視点で審議した。

議員は足を運び、汗を流
し、時には住民とともに涙
を流す...そこが、まちづく
りの原点である。

長く親しんできた町並
みの風景が変わっていく。お
じいさん、おばあさんが亡
くなっていくのと同じよう
にさびしい。心の記憶とい
うのは生きるエネルギーで
ある。

お互いの認め合いは、一
人ひとり個性を生かす。助
け合いは、一人ひとりのよ
さを伸ばす。励まし合いは、
一人ひとりを勇気づける。
そうして、お互いに花ひら
き人生は輝く。

そんな町でありたい。

西山富三郎

【発行責任者】

議長 野口 俊明

【広報委員会】

- 委員長 竹口 大紀
- 副委員長 大森 正治
- 委員 西山富三郎
- 委員 池田 満正
- 委員 杉谷 洋一
- 委員 米本 隆記